

## 秀峰通信『啐啄』

No 1 4 平成22年6月28日(月)

準優勝ラッシュ!・・・新体操男子団体、ハンドボール男子、ウエイト竹田君、情報処理団体  
○19日(土)、20日(日)に行なわれた全九州高校体育大会や情報処理競技大会県予選で、本校生が大いに活躍し、準優勝に輝きました。体育系だけでなく、専門系の競技大会でも健闘しました。商業系は、秀峰としては初出場での快挙です。個人では、2年経営情報科の黒木琴さんが2位、黒木萌さんが3位となり、全国大会出場の資格を獲得しました。全国での活躍も楽しみです。

商業系の就職先で、昨年度より募集人員を増やす企業は1社もなかった。

○商業の先生に関東方面の企業を訪問してもらいました。最近の報道では、経済状況が回復傾向にあると聞いているけれども、求人状況の話聞く限りでは、本当に回復傾向なのかと疑いたくなる話ばかりだったようです。その厳しさを生徒たちにもきちんと把握させ、今の自分をどのように変えなければならないかをもっと自覚させ、そのためにやるべきことにしっかり取り組ませるべきです。

- ・チームで仕事をするので、コミュニケーション能力が必要である。
- ・接客業では、元気で笑顔でお客様にしっかり対応できることが大切であり、面接を重視する。
- ・欠席が少ない生徒がよい。皆勤の生徒だって体調が悪い日もあったはず。欠席が多い生徒は、社会人になっても変わらない。1年で7日、3年間で13日以上欠席がある生徒は合格しない。
- ・勉強や部活動など、少なくとも何か一つに打ち込んできた人材がほしい。

☆進路対策専門員の楠田さんが、県内企業を訪問されて、今年もまた、就職関係は非常に厳しい状況にあると感じておられます。特に、次の2点について、復命されておられます。

- ・事務系職種(商業系の希望先)は、選べる状況にないことを今一度、理解させるべきである。
- ・「職種と企業をよく知る」策を各先生方とタイアップして企画する。(生徒を交えた企業訪問等)

「サムライ・ハート 上野由岐子」・・・松瀬 学 著(先日の高校生のための文化講演会の講師)

○松瀬氏から、著書を本校にいただきました。その中の「歓喜の金メダル」の章の中にあった心に残る話を紹介しておきます。本は図書館においてありますので、生徒たちにも読んでほしいものです。

- ・体調がよいときもあれば、悪いときもある。大事なのは、そのときの状態で、どう最大限の力を発揮するかである。(ただし、コンディションづくりには、常に心配りをしておくべきである。)
- ・「あきらめなければ、夢はかなうんです。」ただ誤解してほしくない。あきらめなければ、自分を信じて投げれば、それだけで世界一になれるわけじゃない。強い心だけで金メダルを獲れるほど勝負の世界は甘くない。「やるべきことをやってきたから、北京では結果を出すだけでした。極限のところまで、ちゃんと準備できたというのが、自分の中では何より大きかったんです。」つまりは、自分を信じてるところまで完璧な準備ができたということである。

口蹄疫義援金・生徒メッセージを地元、JA 小林に贈呈・・・22日(火) 16:30

○本校生徒会とボランティア同好会が一緒になって、7日~21日の間に行なった募金運動で集まった義援金とメッセージをJAこばやしに生徒正副会長とボランティア同好会の生徒が届けました。本校生の善意のこもった活動が、学校と地域との結びつきを一層深めたものになりました。特に、生徒全員が心を込めて綴ったメッセージは、畜産を営まれている家々に、JA新聞という手段で送付されるそうです。とても感激されておられたそうです。

義援金14,480円

☆本校では、本年度、生徒会やボランティア同好会がこれまで 正副組合長に贈呈しました。



以上にボランティア活動に積極的に取り組もうとしています。先日は、小林ロータリークラブからの「インターアクト」(社会奉仕)活動を小林商業高校から引き継いでほしいとの依頼を承諾しました。

**全国商業高校協会「珠算・電卓実務検定」1級取得者が91名になりました！**

○20日（日）に、本校で実施された検定試験で、44名の生徒が1級に合格し、昨年度の47名と合わせて、91名となりました。商業科と経営情報科を合わせて、3年生は91名中75名（82%）が1級取得者となりました。2年生も16名が、今回の試験で1級合格となっています。よく頑張っています。その他の検定の昨年度の1級取得者は下のようになっています。今回の検定試験が、本年度最初でしたので、これからが大いに楽しみです。3年生の中には、もうすでに5種目1級の生徒もいます。英語検定1級取得者がどの学校でも最も少ないようです。事務職に就いたり海外で働くことがあることなどを考えると、商業系の生徒たちにも英語をしっかりと勉強して行ってほしいと思います。

・簿記 62名 ・ワープロ 40名 ・情報処理関係 41名 ・英語 0名 ・商経 0名

**夏の甲子園県予選・・・初戦は日南高校！11日（日）第3試合14：00～サンマリノスタジアム**



練習にも熱が入ります。

○口蹄疫の関係で、対外の練習試合禁止の中、ぶっつけ本番の大会となりますが、試合できることに感謝して、まずは初戦突破を目指して頑張してほしいと思います。日南高校は、本校初代校長の川崎校長先生の学校です。秀峰生の成長を見てもらいたい機会にしてください。

・昨年度の開会式では、小林工業高校の山下主将と小林商業高校の八重尾主将が、「努力を信じ、仲間を信じ、自分を信じて、感謝の念を忘れずに、一生懸命プレーします。」と力強く宣誓しました。

**厳しい規制でも好評、制服のような「制携帯」 神戸の私立中・高（6月21日 産経新聞）**

○制服のように学校が使用を義務づける携帯電話「制携帯」を今年度から導入した須磨学園中学・高校（神戸市須磨区）の生徒会が20日、報告会を行った。生徒や教員、保護者に実施したアンケートも公開し、利用方法について議論を交わした。

携帯電話をめぐるのは、未成年者のトラブルが多いことなどから使用を禁止する学校が主流だが、同学園は正しい使い方を教えようとあえて導入を決定した。

同学園の携帯電話は定額制で、生徒や教員間の通話は無料。ウェブサイトの利用時間や閲覧に厳しい規制を設け、家出など緊急時には保護者と学校が相談の上、生徒の履歴も確認できる。学園は制携帯を使って情報教育に取り組んでおり、他の学校から相談も寄せられているという。

制携帯は中学1年と高校1年、教員に配布し、初年度は希望者を含め約400人が使用している。

報告会は、中学校の生徒会が主催。生徒会長（15）が「規制が厳しすぎるけど、制携帯のおかげで先生に相談しやすくなった」と率直な感想を話した。

報告会前に行ったアンケート調査では、ほとんどの保護者が制携帯に肯定的で、9割が規制を「適度」と回答。西泰子理事長は「制携帯はまだできたばかり。運用しながら規制や機能については改善を重ねたい」と話した。

☆「制携帯」について、どう思いますか？・・・肯定派それとも否定派?????

「先生に相談もしやすくなった」と生徒も導入を喜ぶく制携帯>・・・右写真→

☆明日29日から、期末考査です。しっかり勉強して臨むように、指導をお願いします。



正門の上に五位鷺の雛がいます

○正門の楠に五位鷺の巣が7つ程あり、雛が孵っています。親鳥が餌を運んで来るのを巣の中で待っていたり、飛べるようになるために枝から枝に移って体力をつけたり、要領を身につけようとしていたりしているようです。その内の一羽が巣から落ちてしまいました



ダリア：花言葉は「優雅」「感謝」

まだ、ほとんど飛べないために、楠の下の塀の上を動き回ったりして、親鳥の助けを得ようとしていました。早く、飛べるようになって、巣に帰れるようになってほしいと祈るばかりです。